

平成31年3月26日
北海道総合開発委員会計画部会

今後の政策推進に向けた提案意見（案）

10月に開催した北海道総合開発委員会計画部会において、第1回委員会の審議を踏まえ、北海道総合計画及びSDGsの着実かつ効果的な推進に向け、一層の取組が必要な事項に関して「人づくり・人材確保」を中心に深掘りした審議を行い、道への提案意見（案）を取りまとめた。

記

1 「人づくり、人材確保」に関する主な事項

- 成年年齢の引下げやＩＴ化の推進など社会の変化に対応し、若者世代に対する総合的な消費者教育が必要
- 外国人観光客誘致に有効なアドベンチャートラベルの推進に向け、北海道の自然や歴史、文化を組み合わせたガイドや、地域の観光産業を牽引する人材育成の取組が必要
- 留学生に対する企業の採用情報の提供によるマッチング機会の充実など、外国人材の道内就職の促進に向けた取組が必要
- 地域の産業に必要とされる能力を身につける教育を地域で行い、卒業後はそのまま地元で就職することを誇りと考えることができるような人材教育が必要
- 学校だけでなく社会全体でいじめ対策に取り組んでいく必要があることから、官民のパートナーシップを生かした体制整備などの取組が必要
- ふるさとの歴史・文化の発信と継承に向け、先人の開拓の努力や縄文遺跡群、アイヌ文化などを理解し、北海道ブランドとして発信できる人材育成が必要

2 その他の主な事項

(1)「生活・安心」分野

- 胆振東部地震の発生に伴う道民生活への影響を分析し、大規模停電を踏まえた今後の対応や、道民や在留外国人への適切な情報伝達のあり方など、災害に強い電力と情報システムの構築の検討が必要
(政策評価に反映：安全安心な教育環境づくり)

(2)「経済・産業」分野

- 海外成長力を取り込んだ経済の持続的な発展のため、インバウンドの更なる加速化に向けた日本版DMOの形成や観光商品の開発などの取組が必要
(政策評価に反映：滞在交流型観光地づくりの推進)

(3)「人・地域」分野

- ふるさとの歴史・文化の発信と継承に向け、先人の開拓の努力や縄文遺跡群、アイヌ文化などを理解し、北海道ブランドとして発信できる人材育成が必要【再掲】
(政策評価に反映：北海道独自の歴史・文化の発信と継承など)

3 SDGsの推進に関する主な事項

(1) 優先課題Ⅱ 環境・エネルギー先進地「北海道」の実現

- 地球環境保全の推進に向け、道内のポテンシャルの高い地熱、水力などの自然エネルギー資源を活用した更なる取組が必要
(ビジョンに反映：地球環境保全の推進)
- 成年年齢の引下げやＩＴ化の推進など社会の変化に対応し、若者世代に対する総合的な消費者教育が必要【再掲】
(ビジョンに反映：持続可能な生産と消費の推進)

(2) 優先課題Ⅳ 未来を担う人づくり

- 学校だけでなく社会全体でいじめ対策に取り組んでいく必要があることから、官民のパートナーシップを生かした体制整備などの取組が必要【再掲】
(ビジョンに反映：子ども・青少年の確かな成長を支える環境づくりの推進)